

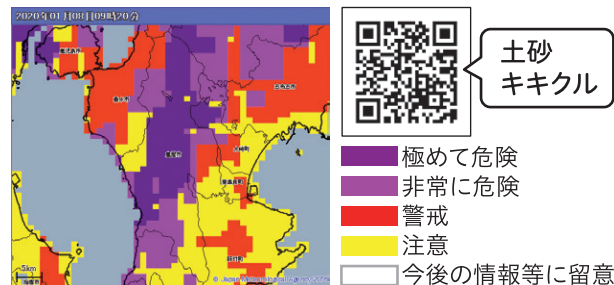
土砂災害に備える

土砂災害警戒情報は、土砂災害の危険度が高まった場合に発表される防災情報です。発表されたときは、「いつ土砂災害が起きてもおかしくない」という非常に危険な状態ですので、危険な場所にいる人はすぐに避難しましょう。

土砂キキクルの確認方法

地域ごとの土砂災害の危険度は、気象庁の「土砂キキクル」で確認できます。

大雨警報が発表されたら、自分のいる場所の危険度を確認して、危険度分布情報が赤色になった時は、土砂災害警戒情報が発表されていなくても早めに避難しましょう。



土砂災害の種類と前兆

土砂災害は、土砂災害警戒情報が発表されていなくても発生する可能性があります。次のような前兆現象を察知したときは、直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、関係機関に通報してください。

○土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)
土砂災害の恐れがある区域

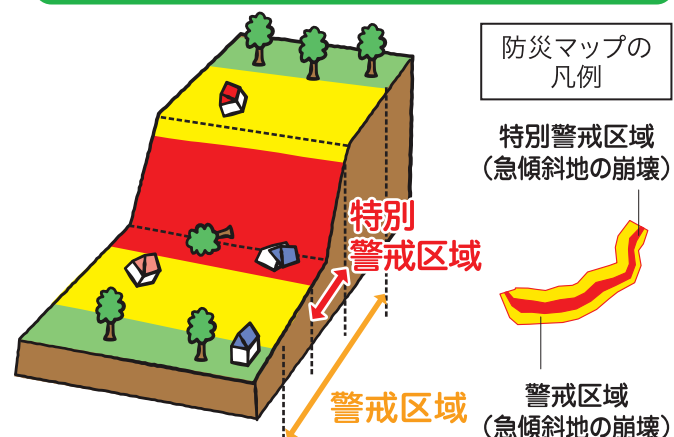
土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)
建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じる恐れがある区域

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などでゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

前兆現象

- がけに割れ目ができる
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

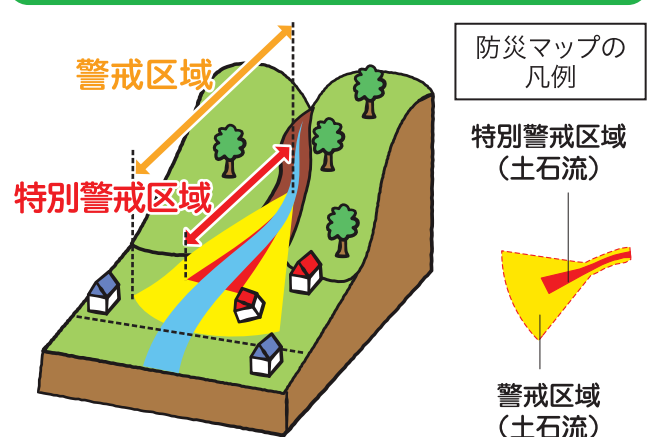


土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流される現象です。

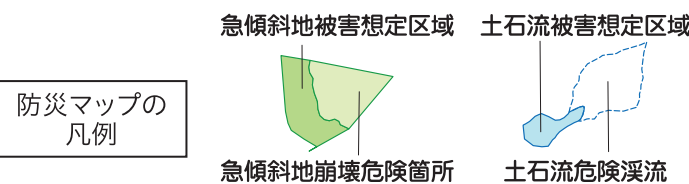
前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流が濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



○土砂災害危険箇所

がけ崩れ、土石流など、土砂災害による被害の恐れのある箇所を示したものです。



地震・津波に備える

地震は、台風や土砂災害などと違い、いつどこで発生するか予測の難しい自然災害です。いざという時にあわてず適切に行動できるよう、日頃から地震に対しての知識や心構えを身に付けておきましょう。

想定される地震

震源	マグニチュード	最大震度
種子島東方沖	8.2	6弱
南海トラフ【西側】	9.1	6弱
鹿児島湾直下	7.1	6弱



地震発生時の行動

地震発生	1分～5分	5分～10分	10分～数時間
命を守る ○落ち着いて自分の身を守る ※家屋倒壊や土砂災害の危険性がある場合はすぐに避難 ※沿岸部は津波の恐れがあるのですぐに避難	家族を守る ○家族の安全を確認 ○火元を確認・初期消火 ○ケガをしないように靴を履く ※余震に注意	地域を守る ○隣近所の安全を確認 ○ラジオなどで情報を確認 ○ガスの元栓を閉める ※通電火災を防ぐためブレーカーを切って避難	助け合い ○協力して消火・救出活動 ○水や食料は備蓄品でまかなう ○災害情報・被害情報の収集 ※壊れた家には入らない

こんな時は!

路上にいた!

- 看板や割れたガラスの落下に注意
- ブロック塀などの倒壊に注意

車を運転していた!

- 道路の左側に停め、エンジンを切る
- キーは付けたまま、ロックもしない
- 貴重品は持ち出し、徒歩で避難

エレベーターの中にいた!

- 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる

津波から身を守る



- 小さな揺れでも油断禁物
- 「より高い場所」へ避難
- 警報・注意報の解除まで戻らない

防災マップの津波浸水想定区域は、最大クラスの津波による浸水域と浸水深を示したものです。

- 南海トラフ地震 …… 最大津波高 3.2m(到達時間81分)
- 鹿児島湾直下地震 … 最大津波高2.36m(到達時間32分)

最大クラスの津波から身を守るため、標高10m以上の場所まで避難してください。
防災マップで**標高10mの等高線**表示を確認しておきましょう。